第 19 講 【現代編】世界恐慌と第二次世界大戦
PART2 軍国主義の台頭

Chapter 1 日本軍部の台頭と日中戦争

目標
満洲事変で中国東北地方がどのような状況になったのか考えよう。
日中戦争で中国が日本にどのように抵抗したのかを理解しよう。

1 日本軍部の台頭

金融危機や飢餓で政党政治がゆきづまり，これに乗じて軍部や右翼が勢力を伸ばしていった。

1932 年　海軍青年将校らが〔　　　　　　　　　　　〕をおこす
　　→政党政治が崩壊，軍部の発言力が強まる
1936 年　陸軍皇道派の青年将校が〔　　　　　　　　　　　〕をおこす
　　→軍国主義体制が強まる

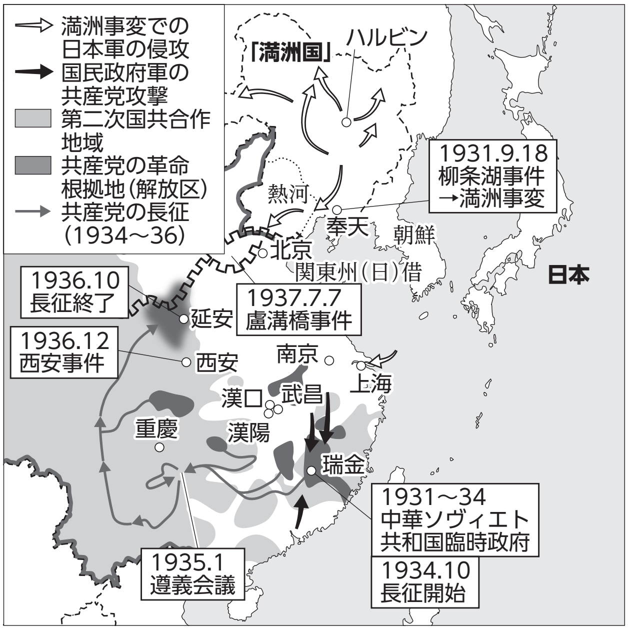
2 満洲事変

1931 年　関東軍が，南満洲鉄道の線路を爆破〔　　　　　　　　　〕
　　→これを中国軍のしわざとして軍事行動をおこし，東北部を占領
　　※以降，日本が介入した中国東北地方の動乱を〔　　　　　　　〕という。
1932 年　上海で日本軍と中国軍が衝突，〔　　　　　　　〕が勃発
　　※列強の目を満洲から反らすのが目的。
1932 年　国民政府の提訴によって，国際連盟が〔　　　　　　　　　　　　〕を派遣
1932 年　清朝最後の皇帝**溥儀**を執政として〔　　　　　〕 を建国
1933 年　関東軍が**熱河**方面に侵攻，張学良の勢力を破る
1933 年　リットン調査団の報告に基づき，国連総会が満洲国の不承認を決議
　　→日本が**国際連盟脱退**を通告
1935 年　関東軍が，河北省東部に傀儡政権（**冀東防共自治政府**）を組織（華北分離工作）

3 日中戦争と国共合作

1931 年　**共産党**が，江西省の**瑞金**に〔　　　　　〕を主席として**中華ソヴィエト共和国臨時政府**を樹立

1934 年　〔　　　　　〕率いる**国民党軍**の攻勢で，共産党軍（紅軍）が瑞金から撤退
→国民党軍と戦いながら行軍を開始
（〔　　　　〕）



日中戦争と国共合作に関連する出来事・都市

1935 年　国民政府が，**通貨の統一**を進める
※銀の使用を禁止し，政府系の銀行が発行する銀行券（法幣）を統一貨幣とする。

1935 年　共産党が〔　　　　　　　　〕を発す
※８月１日，内戦の停止と抗日民族統一戦線の結成を呼びかける。

1936 年　**張学良**が〔　　　　　　〕をおこす
※**蔣介石**を捕らえて内戦停止と抗日戦を要求，共産党の**周恩来**も来訪。

1936 年　共産党軍が，陝西省**延安**を根拠地に定める

1937 年　〔　　　　　　　　〕がおこる
→これを機に〔　　　　　　　〕に突入

1937 年　〔　　　　　　　　　　　　〕が成立（**抗日民族統一戦線**）

1937 年　日本軍が南京を占領し，捕虜や民間人を虐殺する**南京事件**をおこす

1937 年　国民政府が**南京**から〔　　　　〕に拠点を移して，抵抗を続ける

1938 年　日本軍が，華北に加えて長江沿岸部を占領

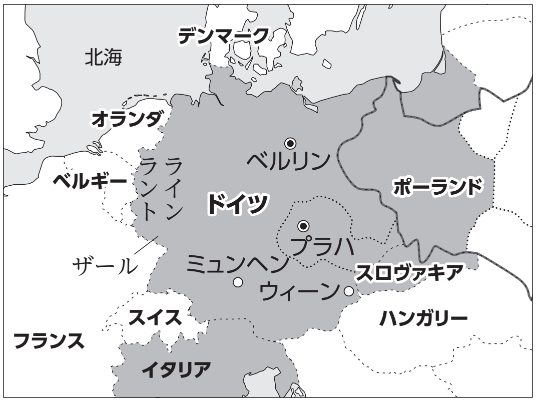
1940 年　日本が**重慶政府**に対抗して，南京に親日政権を設立
※重慶を脱出した国民党左派の〔　　　　　〕を首班として，占領地を統治。

まとめ
満洲事変により満洲国が建国され，日本の支配下に置かれた。
第二次国共合作を成立させ，国民党と共産党が連携して抗日を進めた。

Chapter 2　ナチスの台頭とスペイン内戦

目標　ナチスがどのようにして政権を獲得し，独裁体制を築いたのかを学ぼう。
スペイン内戦の対立構造を理解しよう。

1　ナチスの台頭と拡大



ナチス拡大に関連するドイツ諸都市

1930 年　選挙で〔　　　　　　　　〕の率いる**ナチ党**（国民社会主義ドイツ労働者党）が勢力を伸ばす

※〔　　　　　　　　　　〕の代表的な担い手であるナチ党は，ヴェルサイユ条約の破棄，ヴァイマル共和国反対を訴え，農民や中間層の支持を集める。

1932 年　総選挙で**ナチ党**が第一党になる

1933 年　**ヒトラー**が首相に就任，政権を掌握

1933 年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を利用して共産党を弾圧

1933 年　政府に立法権を委ねる〔　　　　　　　　　　〕を制定

→ナチ党以外の政党や団体を解散させ，**一党独裁**体制を実現

1933 年　軍備平等権が否決されたことを理由に，**国際連盟**から脱退

1934 年　ヒトラーが大統領と首相の権限をあわせ持つ〔　　　　　〕（フューラー）に就任

※**アウトバーン**（高速道路）の建設や軍需産業により，失業者を救済。

※秘密警察（**ゲシュタポ**）や親衛隊（**SS**）によって国民生活を統制し，反対派や**ユダヤ人**，ロマ（ジプシー）の人々を激しく迫害。

→物理学者のアインシュタインや作家のトーマス = マンがアメリカに亡命

1935 年　住民投票によって，独仏国境地帯の炭鉱地帯**ザール地方**を編入

1935 年　〔　　　　　　〕を宣言，**徴兵制**を復活

→イギリス，フランス，イタリアが抗議。フランスは仏ソ相互援助条約を締結

1935 年　イギリスが**英独海軍協定**を結び，ドイツの再軍備を追認

1936 年　仏ソ相互援助条約を口実に**ロカルノ条約**を破棄し，非武装地帯〔　　　　　　　　　　　　〕に軍を進駐

1936 年　経済計画**四カ年計画**を開始

※戦争遂行のため，食料と戦略物資の自給を目指す。

2　スペイン内戦

1931 年　スペイン革命で，共和政が成立

1936 年　社会党や共産党からなる〔　　　　　　　　　　　　〕が成立

※アサーニャが大統領に就任。

1936 年　これに反対する保守勢力を率いる〔　　　　　　　〕将軍が，スペイン領モロッコで挙兵

→〔　　　　　　　　　　　　〕がはじまる

※〔　　　　　　　　　　　〕をとるイギリスやフランスに対し，ドイツとイタリアは**フランコ側**を，ソ連が**人民戦線内閣**を支援。

※アメリカのヘミングウェーやイギリスのオーウェルなどの作家も人民戦線内閣を支援し，〔　　　　　　　　　　〕として参加。

1937 年　スペインの小都市ゲルニカが，ドイツ空軍の爆撃で廃墟となる

※スペイン出身の画家**ピカソ**が『**ゲルニカ**』を制作。

1939 年　人民戦線内閣の拠点マドリードが陥落，フランコ将軍側の勝利で内戦が終結

→フランコ独裁体制の出現

ゲルニカ爆撃の様子

まとめ

1932 年の選挙で第一党になると，国会議事堂放火事件で共産党を排除し，全権委任法で一党独裁を確立した。

右派のフランコ将軍を独伊が，左派の人民戦線内閣をソ連と国際義勇軍が支援したが，英仏は不干渉政策をとった。

第19講　PART 2　確認問題

1 日本で軍部の発言力が強まるきっかけとなった，1932 年の出来事はどれか。

① 二・二六事件　② 五・一五事件
③ 五・三〇運動　④ 五・四運動

2 満洲事変の発端となった，関東軍による南満洲鉄道爆破事件はどれか。

① 柳条湖事件　② 西安事件
③ 盧溝橋事件　④ 張作霖爆殺事件

3 抗日民族統一戦線結成を訴えるため，1935 年に中国共産党が発表した宣言はどれか。

① バルフォア宣言　② 共産党宣言
③ 権利の宣言　④ 八・一宣言

4 日本が重慶政府に対抗して南京に設立した，親日政権の首班はだれか。

① 溥儀　② 毛沢東
③ 汪兆銘　④ 蔣介石

5 1934年に首相と大統領の権限をあわせ持つ，ドイツの総統に就任した人物はだれか。

① ヒンデンブルク　② ヒトラー
③ シュトレーゼマン　④ エーベルト

6 1936年にロカルノ条約を破棄して，ドイツが行ったことはどれか。

① アウトバーン建設　② ザール地方編入
③ 国際連盟脱退　④ ラインラント進駐

7 スペインに成立した人民戦線内閣に反対して，モロッコで挙兵した人物はだれか。

① フランコ　② アサーニャ
③ ムッソリーニ　④ ピウスツキ

8 スペイン内戦に際し，不干渉政策をとった国は，イギリスとどこか。

① ソ連　② ドイツ
③ イタリア　④ フランス

第 19 講　PART 2　確認問題 解答

1 解答：②
1932 年 5 月 15 日，犬養毅首相が海軍青年将校らに暗殺された。これを**五・一五事件**といい，この事件をきっかけに軍部の発言力が強まった。

2 解答：①
日本の関東軍は，**柳条湖事件**を中国のしわざとして軍事行動をおこし，中国東北部を占領した。これを満洲事変という。

3 解答：④
中国共産党は 8 月 1 日，**八・一宣言**を発表して抗日民族統一戦線の結成を呼びかけた。

4 解答：③
日本は南京に国民党左派の**汪兆銘**を首班とする親日政権を設立し，占領地を統治させた。

5 解答：②
1934 年にヒンデンブルク大統領が死去すると，**ヒトラー**は大統領と首相を兼ねる総統（フューラー）になった。

6 解答：④
ドイツはロカルノ条約を破棄して，非武装地帯の**ラインラントに進駐**した。

7 解答：①
1936 年に人民戦線内閣が成立すると，**フランコ**将軍がこれに反対する保守勢力を率いてモロッコで挙兵し，スペイン内戦を引きおこした。

8 解答：④
フランスはイギリスとともに不干渉政策をとり，人民戦線内閣を支援しなかった。